

GLIONグループ

インパクト評価書

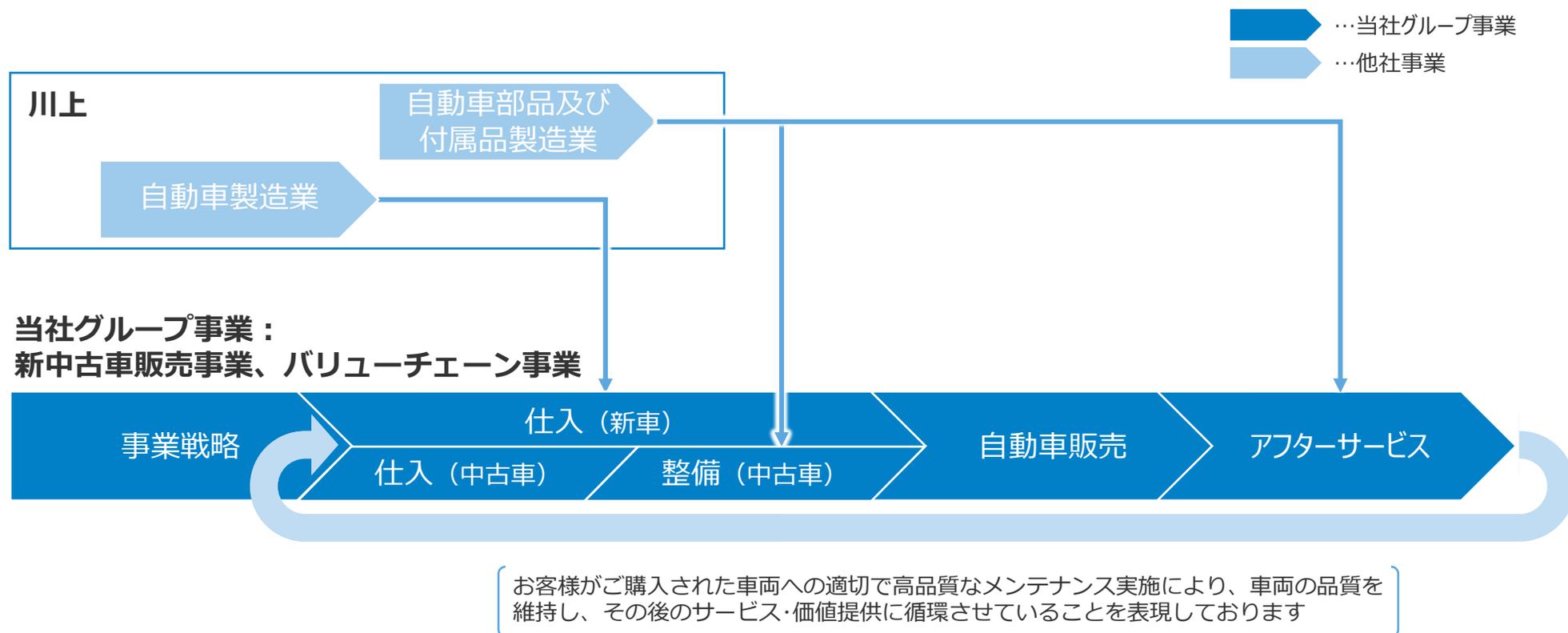
2025年2月28日

- 公表資料ならびに当社へのインタビューから、当社グループの事業分野のうち、新中古車販売事業※1ならびにバリューチェーン事業※2について、バリューチェーン分析※3対象としました
- 当該事業における主要取扱商品に関連する自動車製造業ならびに自動車部品及び付属品製造業を川上として整理しています

※1輸入車ディーラー事業本部、プレミアム事業本部、国産車ディーラー事業本部、海外事業本部等が所管する自動車販売事業

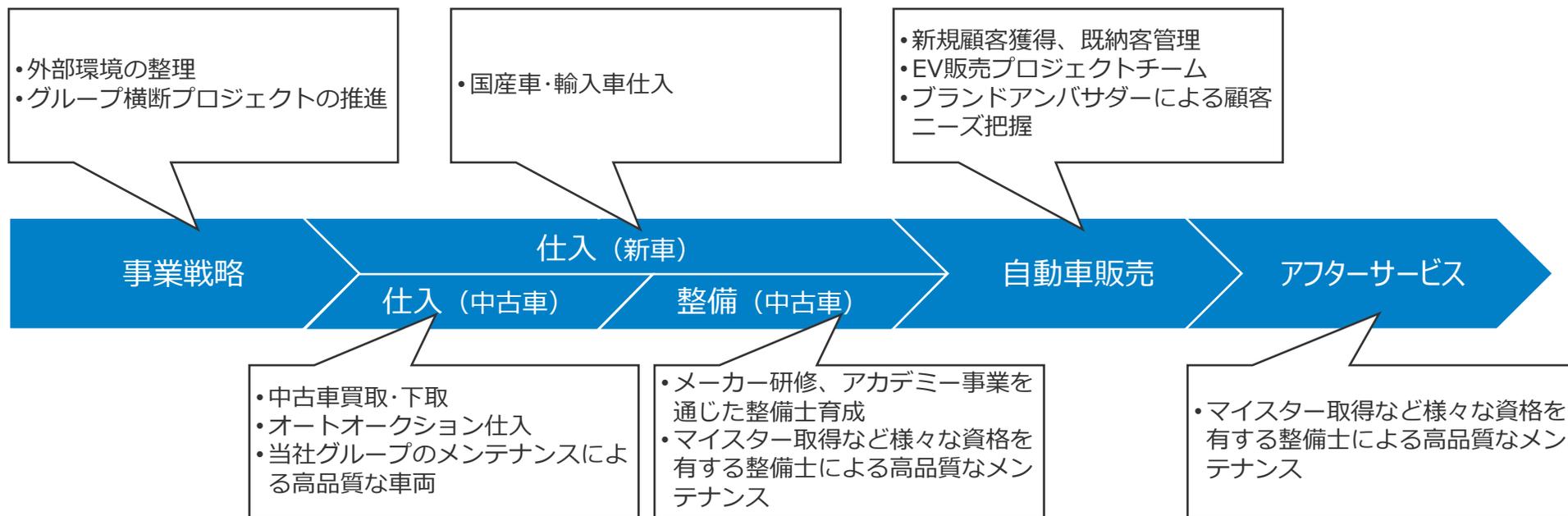
※2自動車の整備・修理サービスカーライフを支える様々なサービスを提供する事業

※3当社グループおよび川上・川下の事業活動が付加価値を生み出す一連の流れを分析



- 当社グループ事業：新中古車販売事業、バリューチェーン事業のバリューチェーンの各ステップにおける具体的な業務内容は以下の通りとなります

当社グループ事業：新中古車販売事業、バリューチェーン事業



- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：新中古車販売事業 ⇒ ISIC：4510 自動車販売業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
		③	住居	③	
		④	健康・衛生	④	1 交通安全
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 労働条件
		⑦	エネルギー	⑦	
移動へのアクセスに貢献	2	⑧	移動手段	⑧	
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	
		⑮	大気	⑮	1 自動車輸送に伴う大気汚染
		⑯	土壌	⑯	
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	
		⑱	資源効率・安全性	⑱	1 エネルギー（車両および倉庫用）
		⑲	気候	⑲	1 輸送・倉庫に関連するGHG排出量
		⑳	廃棄物	⑳	1 梱包
		㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
		㉒	経済収束	㉒	

(凡例) PI：ポジティブ・インパクト、NI：ネガティブ・インパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：バリューチェーン事業 ⇒ ISIC：4520 自動車整備・修理業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
		③	住居	③	
		④	健康・衛生	④	1 交通安全
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 労働条件
		⑦	エネルギー	⑦	
移動へのアクセスに貢献	2	⑧	移動手段	⑧	
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	
		⑮	大気	⑮	
		⑯	土壌	⑯	1 廃油などによる汚染
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	
		⑱	資源効率・安全性	⑱	
		⑲	気候	⑲	
		⑳	廃棄物	⑳	1 廃油およびその他の化学薬品
		㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
		㉒	経済収束	㉒	

(凡例) PI：ポジティブ・インパクト、NI：ネガティブ・インパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

- 特定した川上の事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- その上で、UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

川上①：自動車製造業 ⇒ ISIC：2910 自動車製造業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	① 2	水の大量消費
		②	食糧	②	
		③	住居	③	
		④	健康・衛生	④ 2	大気汚染の主な原因のひとつ
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥ 1	健康と安全の条件
		⑦	エネルギー	⑦	
モビリティへのアクセス	2	⑧	移動手段	⑧ 1	悪影響の少ない他の移動手段の利用減少
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭ 1	汚染の一因となる可能性
		⑮	大気	⑮ 1	汚染の一因となる可能性
		⑯	土壌	⑯ 1	汚染の一因となる可能性
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	
		⑱	資源効率・安全性	⑱ 2	エネルギー、水、金属、鉱物、化学品/化学製品
		⑲	気候	⑲ 2	GHG排出
		⑳	廃棄物	⑳ 1	工程、老朽化した設備、最終消費者による廃棄物
健全な経済を支える製造業	1	㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
人々の移動が経済収束に貢献	1	㉒	経済収束	㉒	

(凡例) PI：ポジティブ・インパクト、NI：ネガティブ・インパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

- ・ 特定した川上の事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

川上②：自動車部品及び付属品製造業 ⇒ ISIC：2930 自動車部品及び付属品製造業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
		③	住居	③	
		④	健康・衛生	④	2
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 健康と安全の条件
		⑦	エネルギー	⑦	
モビリティへのアクセスに貢献	1	⑧	移動手段	⑧	1 悪影響の少ない他の移動手段の利用減少
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	1
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	1 汚染の一因となる可能性
		⑮	大気	⑮	1 汚染の一因となる可能性
		⑯	土壌	⑯	1 汚染の一因となる可能性
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	
		⑱	資源効率・安全性	⑱	2 エネルギー、水、金属、鉱物、化学品/化学製品
		⑲	気候	⑲	2 GHG排出
		⑳	廃棄物	㉑	1 工程、老朽化した設備、最終消費者による廃棄物
健全な経済を支える製造業	1	㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
人々の移動が経済収束に貢献	1	㉒	経済収束	㉒	

(凡例) PI：ポジティブ・インパクト、NI：ネガティブ・インパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング (一覧)

インパクトカテゴリー		当社グループ事業				川上			
		新中古車販売事業		バリューチェーン事業		自動車製造業		自動車部品及び付属品製造業	
		PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI
入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（一連の固有の特徴がニーズを満たす程度）	①	水					2		
	②	食糧							
	③	住居							
	④	健康・衛生		1		1		2	2
	⑤	教育							
	⑥	雇用	1	1	1	1	1	1	1
	⑦	エネルギー							
	⑧	移動手段	2		2		2	1	1
	⑨	情報							
	⑩	文化・伝統							
	⑪	人格と人の安全保障							1
	⑫	正義							
	⑬	強固な制度・平和・安定							
質（物理的・化学的構成・性質）の有効利用	⑭	水（質）					1		1
	⑮	大気		1			1		1
	⑯	土壌			1		1		1
	⑰	生物多様性と生態系サービス							
	⑱	資源効率・安全性		1			2		2
	⑲	気候		1			2		2
	⑳	廃棄物		1		1		1	1
人と社会のための経済的価値創造	㉑	包摂的で健全な経済				1		1	
	㉒	経済収束				1		1	

(凡例) PI : ポジティブ・インパクト、NI : ネガティブ・インパクト、2 : 影響大、1 : 影響あり、空 : 影響なし

- インパクトマッピングの22項目のカテゴリとSDGsは、以下のように対応しています

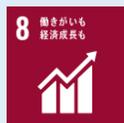
		SDGs																
インパクトカテゴリー		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
①	水						●											
②	食糧	●																
③	住居										●							
④	健康・衛生			●														
⑤	教育				●													
⑥	雇用							●										
⑦	エネルギー						●											
⑧	移動手段										●							
⑨	情報								●									
⑩	文化・伝統										●							
⑪	人格と人の安全保障									●								
⑫	正義																●	
⑬	強固な制度・平和・安定																●	
⑭	水（質）						●											
⑮	大気		●															
⑯	土壌															●		
⑰	生物多様性と生態系サービス														●	●		
⑱	資源効率・安全性							●				●						
⑲	気候												●					
⑳	廃棄物											●						
㉑	包摂的で健全な経済					●			●									
㉒	経済収束	●																●

出所：環境省「インパクトファイナンスの基本的考え方」より当行作成

- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

当社グループ事業：新中古車販売事業 ⇒ ISIC：4510 自動車販売業

ポジティブインパクト



- ・生計の維持



- ・移動へのアクセスに貢献

ネガティブインパクト



- ・交通安全
- ・自動車輸送に伴う大気汚染



- ・エネルギー(車両および倉庫用)
- ・梱包



- ・エネルギー(車両および倉庫用)



- ・輸送・倉庫に関連するGHG排出量

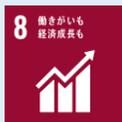


- ・労働条件

- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

当社グループ事業：バリューチェーン事業 ⇒ ISIC：4520 自動車整備・修理業

ポジティブインパクト



・生計の維持



・移動へのアクセスに貢献

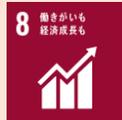
ネガティブインパクト



・交通安全



・廃油などによる汚染



・労働条件



・廃油およびその他の化学薬品

- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

川上①：自動車製造業 ⇒ ISIC：2910 自動車製造業

ポジティブインパクト

 <p>1 貧困をなくそう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人々の移動が経済収束に貢献 	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<ul style="list-style-type: none"> モビリティへのアクセス
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 健全な経済を支える製造業 	 <p>17 パートナシップで目標を達成しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人々の移動が経済収束に貢献
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生計の維持 健全な経済を支える製造業 		

ネガティブインパクト

 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大気汚染の主な原因の一つ 	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<ul style="list-style-type: none"> 健康と安全の条件 	 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<ul style="list-style-type: none"> GHG排出
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水の大量消費 汚染の一因となる可能性 	 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<ul style="list-style-type: none"> 悪影響の少ない他の移動手段の利用減少 	 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 汚染の一因となる可能性
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー、水、金属、鉱物、化学品/化学製品 	 <p>12 つくも責任 つかう責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー、水、金属、鉱物、化学品・化学製品 工程、老朽化した機械、最終消費者からの廃棄物 		

- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

川上②：自動車部品及び付属品製造業 ⇒ ISIC：2930 自動車部品及び付属品製造業

ポジティブインパクト

	<ul style="list-style-type: none"> 人々の移動が経済収束に貢献 		<ul style="list-style-type: none"> モビリティへのアクセスに貢献
	<ul style="list-style-type: none"> 健全な経済を支える製造業 		<ul style="list-style-type: none"> 人々の移動が経済収束に貢献
	<ul style="list-style-type: none"> 生計の維持 健全な経済を支える製造業 		

ネガティブインパクト

	<ul style="list-style-type: none"> 汚染の一因となる可能性 		<ul style="list-style-type: none"> 健康と安全の条件 		<ul style="list-style-type: none"> エネルギー、水、金属、鉱物、化学品・化学製品 工程、老朽化した機械、最終消費者からの廃棄物
	<ul style="list-style-type: none"> 汚染の一因となる可能性 		<ul style="list-style-type: none"> — 		<ul style="list-style-type: none"> GHG排出
	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー、水、金属、鉱物、化学品/化学製品 		<ul style="list-style-type: none"> 悪影響の少ない他の移動手段の利用減少 		<ul style="list-style-type: none"> 汚染の一因となる可能性

- 以上のような分析結果を基に、インパクトマッピングにより特定されたインパクトについて、当社グループが定めるマテリアリティならびにサステナビリティ基本方針等との整合性を踏まえ、目標・KPIを以下のように選択し、設定しました

インパクト	目標	KPI	関連するSDGs
移動手段 (PI,NI) 健康・衛生 気候 (NI)	<ul style="list-style-type: none"> • 新車販売台数に占めるEVおよびPHEV比率 2028年度 15%* 	<ul style="list-style-type: none"> • 新車販売台数に占めるEVおよびPHEV比率 	  

(凡例) PI : ポジティブインパクトの拡大、NI : ネガティブインパクトの抑制

*2028年までの各年度ごとの目標値は、あおぞら銀行が確認しており、その達成状況はモニタリング時に確認していきます。



ご留意いただきたい事項

- 本評価書の内容は、あおぞら銀行がその裁量により信頼できると判断した現時点で入手可能な公表資料や借入人へのヒアリングを通じて収集した情報に基づいて、現時点での状況の評価し作成されたものですが、あおぞら銀行は、当該情報の正確性、適時性、網羅性、完全性及び特定目的への適合性その他一切の事項について表明または保証するものではなく、当該情報を使用した結果について一切の責任を負いません。
- あおぞら銀行は、法律、会計、税務等の専門的資格を求められる内容に関しアドバイスを行う立場にありません。これらの専門的内容等につきましては、独立したそれぞれの専門家にご相談願います。
- 本評価書に係る一切の権利はあおぞら銀行が保有しています。本評価書の全部または一部をあおぞら銀行に無断で複製、翻案、改変等することは禁止されています。